

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成23年6月17日

理事長 間宮 忠敏

英語版「ジャパン・アニメ・マップ」で日本の魅力を新たに発信

日本政府観光局 (JNTO) は、この程、アニメをテーマとした英文印刷物「ジャパン・アニメ・マップ」を発行、併せてウェブサイトでの情報発信を開始しました (※)。JNTO では、これまで実用ガイド「アニメーション・イン・ジャパン」、(財)箱根町観光協会との共同制作による「英語版・エヴァンゲリオン箱根補完マップ」と「クールジャパン・ポスター:箱根」を作成していますが、人気アニメを活用した初の全国版案内マップとなります。

「ジャパン・アニメ・マップ」は海外でも人気の高いアニメを中心に、日本各地に点在するアニメの舞台 (聖地) やアニメ関連施設・イベント情報を紹介、アニメファン層への訪日意欲を促進します。印刷物のサイズは、全紙 60×44cm (両面印刷)、仕上がり 10×22cm で発行部数は 1 万部。主な掲載内容は以下のとおりです。

【主な掲載内容】

- (1) 人気アニメのあらすじと舞台となった地域の情報 (らきすた/埼玉県久喜市他、涼宮ハルヒの憂鬱/兵庫県西宮市、true tears/富山県南砺市、サマーウォーズ/長野県上田市、等)
- (2) 日本各地のアニメ関連施設 (サンリオピューロランド、京都国際マンガミュージアム等)
- (3) アニメ関連のショップが集まる地域の情報 (秋葉原、名古屋大須電気街、大阪日本橋等)
- (4) オタク文化としてのコスプレ、フィギュア、ゲーム情報
- (5) アニメ関連イベント情報 (コミックマーケット、世界コスプレサミット等)
- (6) お土産にもおすすめのグッズ (ガンブラ、ソフビ、ねんどろいど等)

日本アニメの人気は世界的に広がっており、アニメや漫画を目的とした観光客も増加しています。JNTO では、パリで開催される日本のポップカルチャーを紹介するイベント「Japan Expo」(入場者数:約 17 万人) やロサンゼルスで毎年開催されるアニメファン向けの展示会「Anime Expo」(入場者数:約 4 万人) などに参加し、「ジャパン・アニメ・マップ」を使ってアニメ文化の中心地としての日本の魅力を発信していくこととしています。

また、同印刷物の内容は、JNTO 韓国語サイト <http://www.welcometojapan.or.kr/> でも韓国語にて情報発信を行う予定です。

※本印刷物は、<http://www.jnto.go.jp/eng/animemap/index.html> よりダウンロードしていただけます。

表紙の画像データをご希望の方は担当までご連絡ください。→

